

# ■ 目 次 ■

## 1 法人の概要

1. 沿革の概要	1
2. 建学の精神、教育理念及び教育目的	4
3. 設置する学校、学部、学科等	6
4. 平成29年度学生数	7
5. 補助金等に関する事項	9
6. 名誉理事に関する事項	12
7. 役員に関する事項	12
8. 評議員に関する事項	13
9. 名誉教授	14
10. 教授会構成員	15
11. 教職員数	18

## 2 事業の概要

1. 平成29年度事業概要	19
2. 最近5ヶ年の入試結果	32
3. 最近5ヶ年の薬剤師国家試験結果	34
4. 平成29年度学位授与数	34
5. 平成29年度就職・進学状況	35

## 3 財務の概要

1. 平成29年度決算概要	36
2. 資金収支計算書概要	37
3. 事業活動収支計算書概要	38
4. 貸借対照表概要	38
5. 平成29年度事業活動収入及び事業活動支出構成比	39
6. 年度別財務比率表	40
7. 最近5ヶ年度の資金収支計算書	41
8. 最近5ヶ年度の事業活動収支計算書	42
9. 最近5ヶ年度の貸借対照表	43

## 2 事業の概要

### 1. 平成 29 年度事業概要

#### 【新規事業】

#### 1. 「星薬科大学ビジョン 2025～2030」を具現化するための計画の推進

##### ①計画

建学の精神と教育の理念に基づく教育研究活動を永続的に発展させることを目的に、平成 26 年 5 月に策定した「星薬科大学ビジョン 2025～2030」を実現するため、中長期計画（ロードマップ）の策定、事業計画の具体化及び実施等に向けて取り組む。

##### ②実績

平成 29 年 9 月に中長期計画策定委員会及び中長期計画策定委員会 WG を設置し、中長期計画の策定に向けて、検討を開始した。

#### 2. 教育及び研究の質の向上に向けた取り組み

##### (1) 大学評価への対応

##### ①計画

平成 29 年度に大学基準協会の大学評価に申請することを契機にさらなる教育体制の改善を図る。

##### ②実績

平成 29 年 3 月に大学基準協会に対し、平成 29 年度大学評価についての申請を行い、平成 29 年 9 月 26 日（火）、27 日（水）に実地調査を受検した。平成 30 年 3 月に、同協会から評価結果が報告され、本学は、同協会が定める大学基準に適合していると認定された。認定の期間は、2018 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までである。

##### (2) 若手研究員の育成

##### ①計画

優れた若手研究員を育成するための制度を検討し、本学の研究活動の活性化を図る。

##### ②実績

若手研究者育成のための若手戦略経費を設けられており、平成 29 年度は 3 件の申請があり、使用が承認された。

##### (3) 全学的な研究推進体制の強化

##### ①計画

文部科学省のブランディング事業（全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等の支援を目的とする事業）への対応に向けて、全学的な研究推進体制を強化する。

##### ②実績

分野横断的な委員を集めたブランディング研究申請 WG を設置し、研究総合戦略

委員会と連携をとり、私立大学研究ブランディング事業申請を行った。

### 3. 薬剤師国家試験への対応

#### ①計画

成績が下位の学生への対策及び薬剤師国家試験の合格率の向上等を目的に薬学教育研究センターに設置された「総合基礎薬学教育研究部門」を引き続き運用すること等により、さらなる成果を目指す。

また、4年生以上の薬剤師国家試験への対応は、「薬学教育研究部門」が中心となって薬学教育支援システムの利用等により、より一層の成果を目指す。

#### ②実績

総合基礎薬学教育研究部門は、平成28年度に引き続き、改訂コアカリキュラムに準じた教育が実施される薬学科1～3学年を対象に、留年を減らすことを目的に活動した。

具体的には、配属決定時期における欠単位数をもとに、前期は2年生17名、3年生21名、後期は1年生18名、2年生20名、3年生40名を同部門の“基礎演習ゼミ”に配属し、学習指導を行った。学習指導では、毎日、正規授業時間外である朝夕の合計90分間を利用して、主に学生が日々の講義の要点を整理して理解できるようにすることを目指した。また、薬学基礎知識の定着を目的に、履修が終わった薬学基礎科目を中心とした基礎演習を実施した。

また、薬剤師国家試験に関する教育の補助のため、特任助手1名を採用し、薬剤師教育研究部門に配属した。

### 4. 入試制度改革の推進

#### ①計画

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、多面的・総合的に評価する入学者選抜の在り方を検討する。

#### ②実績

新たにアドミッションオフィス及び入試対策委員会を新設した。また、入試対策委員会を親委員会とした、入試広報委員会、入試実行委員会、入試問題検討委員会を設置した。

また、平成31年度一般入試S方式の創薬科学科に生物を追加することを決定し、専門委員会にて、試験問題の検討を開始した。

### 5. 次期学長任命

田中隆治学長の任期満了に伴う平成30年度からの次期学長選任について、学長候補者選考委員会の選考結果を踏まえ、平成29年12月の理事会において審議した。その結果、田中現学長を学長予定者として選任し、本人に意思を確認の上、次期学長に任命した。任期は、平成30年4月1日から1年間である。

### 6. 会計検査院実地調査の受検

会計検査院の実地調査が平成30年2月5日（月）～7日（水）に実施され、対応を行った。

## 【継続事業】

### 1. 8号館の建設

#### ①計画

平成28年度に着工した8号館の建設工事を計画通り進める。

#### ②実績

平成29年8月末に竣工し、平成29年9月7日（木）に竣工記念会を開催した。その後、機器設備の設置や搬入を行い、11月より稼働した。

### 2. 人事評価制度の充実と着実な運用

#### ①計画

平成26年度に導入された人事評価制度について、PDCAに基づき引き続き着実に運用する。また、人事評価制度結果を踏まえ、計画的に職員の研修を実施し、スキルアップ、人材育成を図る。

#### ②実績

平成29年度に実施した人事評価及び勤務成績の結果について、平成29年度の昇給及び勤勉手当に反映させた。教職員に対し、人事評価制度についてアンケート調査を実施し、結果の検討をワーキンググループで実施した。

また、FD、SD研修会等を通して、スキルアップ、人材育成を図った。さらに、事務職員の能力向上を図り、2名がPCスキル講習を受講した。

### 3. 教育・研究環境の整備

#### (1) 病院・薬局・地域薬剤師会等との連携強化

##### ①計画

病院・薬局実務実習、早期体験を効果的に実施するため、病院・薬局・地域薬剤師会、保健・介護施設との交流を重ね連携を強化する。特に大学病院との連携強化を図り、社会が求める質の高い薬剤師を育成するとともに、在野の薬剤師の再教育のために求められている臨床薬学、社会薬学を強化することにより本学の特徴ある教育・研究体制を形成する。

##### ②実績

病院・薬局の指導薬剤師を対象とした実務実習事前説明会、実務実習報告会、事前学習見学会を開催し、指導薬剤師と教員及び学生との連携を図った。特に、日本医科大学付属病院、東京大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東京女子医科大学病院、総合相模更生病院等との連携を深め、実務実習等の指導を依頼した。

また、品川区薬剤師会への協力を進め、教員(薬剤師)3名が品川区学校薬剤師会に登録し、学校環境衛生検査、「薬育」授業、あるいは学校保険委員会等で協力した。平成29年「薬と健康の週間」には、品川薬剤師会、荏原薬剤師会、品川区との共催で、お薬相談・薬の適正使用に関する啓発・HbA1c検査・血圧測定・骨密度測定など健康をサポートするイベントを開催した。

## (2) 医薬連携の推進

### ①計画

学術交流協定を締結している山梨大学、東京慈恵会医科大学、日本医科大学、金沢大学、慶應義塾大学、順天堂大学、東京医科歯科大学等、医学部を有する大学等との連携を推進する。

### ②実績

東京医科歯科大学と連携・協力に関する協定を平成29年7月に締結し、本協定を基に、薬学科6年生のアドバンスト・コース科目の「チーム医療入門」として、同大学が実施するワークショップに本学学生50名が参加した。

## (3) 国際交流、グローバル化の推進

### ①計画

学術交流協定締結校を中心とした海外の教育研究機関等との連携を通じて、共同研究、教職員交流、学生交流を活発に行う。また、海外拠点を活用した海外実務研修の充実を図る。さらに、グローバル化へ対応するため、夏期休暇期間等を利用した学部学生の留学制度を検討する。

### ②実績

- a. Pacific University College of Health Professions (パシフィック大学)との業務提携協定を平成29年9月19日に締結した。
- b. 学術交流協定を締結している中国の浙江工業大学から平成29年3月から9月まで2名、平成30年2月から9月までの予定で3名受け入れた。また、浙江工業大学の教員3名を招聘し、平成29年10月13日(金)・14日(土)にジョイントシンポジウムを開催した。
- c. 学術交流協定を締結しているアイルランドのRoyal College of Surgeons in Ireland (RCSI) と主に以下のような交流を行った。
  - ・サマースクールとして、RCSIの学生4名を平成29年6月5日(月)～7月29日(土)の間、受け入れた。また、本学は2名の学生を平成29年6月1日(木)～8月4日(金)の間、派遣した。
  - ・RCSIの学生4名が平成29年6月30日(金)開催された国際交流スペースで、母国紹介等を行った。また、平成29年7月27日(木)に研究発表会を実施した。
  - ・共同研究のため、RCSIの研究員1名を平成30年1月から3月の間、受け入れた。
  - ・RCSIの教授1名が来学し、学部及び大学院講義を行った。
- d. タイのチュラロンコーン大学との学術交流協定に基づき、1名の学生を平成29年9月から12月の間、受け入れた。また、平成29年1月から約1ヶ月間同大学に本学学生が派遣された。
- e. 学術交流協定を締結しているインドネシアのイルランガ大学から1名の教員を外国人客員研究員として受け入れた。
- f. ドイツのマーブルグ大学から1名の学生を平成29年9月から約1ヶ月間受け入れた。
- g. 10月及び2月に各3名の学生を研修先であるカナダのOakridge Pharmasave等に派遣し、海外アドバンスト実務実習を着実に実施した。

#### **(4) 本館講堂の建替資金の積立**

##### **①計画**

平成 28 年度に引き続き、大正 13 年竣工の本館講堂の建替資金を 2 号基本金に組み入れる。

##### **②実績**

計画通り本館講堂の建替資金として 2 億円を 2 号基本金に組み入れた。

#### **4. 学生支援活動の推進**

##### **(1) 学生の課外活動に対する支援強化**

##### **①計画**

新カリキュラムの導入に伴う、学生の課外活動の時間及び機会の増加に対応するため、体育施設、クラブ部室、自習スペースの整備、拡充について計画を策定し、優先順位に基づき実施する。

##### **②実績**

体育施設の一部に平成 30 年度にエアコンを設置することを計画した。

8 号館建設工事に伴い、クラブ施設を利用できなくなったクラブ団体に対し、外部施設利用料の補助を実施した。

また、科学捜査研究会が同好会に昇格したため、プール取り壊しにより不要となった体育館乾燥室を部室とするための改装工事を実施した。

##### **(2) 学生指導体制の強化**

##### **①計画**

学生の基本情報に指導グループや卒論教室での面談や指導内容等を加えた「学生カルテ」を導入する等、学生指導体制を強化する。

##### **②実績**

学生の基本情報等を記録する「学生カルテ」フォーマットを作成し、情報収集・記録を開始した。また、学生の興味、関心や職業適性を客観的に把握するため、1 年生及び 3 年生全員を対象に職業レディネステストを実施し、結果について指導教員および学生にフィードバックを行った。

##### **(3) 英語力強化への支援**

##### **①計画**

TOEIC 試験の実施を通して、学生の英語力強化を支援する。

##### **②実績**

就職における TOEIC スコアの重要性に鑑み、8 月 21 日～25 日に TOEIC 対策講座を実施し、38 名の参加を得た。また、TOEIC IP テストを学内で年 4 回実施した。受験料については、揺籃会からの支援と併せて、取得スコアに応じて半額又は全額の補助を行った。

#### (4) 就職支援の強化

##### ①計画

受入れ機関との情報交換を緊密に行い、就職支援の強化を図る。特に、薬剤師資格を取得しない創薬科学科卒業生については、幅広い就業の機会が得られるよう配慮する。

##### ②実績

- (ア) 学内企業説明会を4月に1回、3月に3回開催し、製薬メーカー、病院、調剤薬局、ドラッグストア等154団体が参加した。
- (イ) インターンシップを8月1日～9月25日に実施した。学部3年生から5年生及び修士1年生まで、延べ118名が参加した。
- (ウ) 全学年を対象に、公務員試験対策講座を年2回(8月および3月)開講し、延べ56名の参加を得た。
- (エ) 早期からキャリア意識を醸成するため、創薬科学科1・2年生全員に対し、学生支援部職員が個別面談を実施した。
- (オ) 上記面談において「先輩との繋がりを増やしたい」との要望が多いことを踏まえ、創薬科学科の学生交流会を平成29年11月10日(金)に実施し、創薬科学科を基礎とする大学院生も含めて58名の学生が参加した。
- (カ) 初めての試みとして、保護者向けの就職ガイダンスを2月18日(日)に開催した。対象は、薬学科4年生、5年生、創薬科学科3年、総合薬科学専攻修士課程1年の保護者で、当日は182名の参加者があった。

#### 5. 本館の改修・補強

##### ①計画

本館メインホール天井部分について、平成26年度における調査結果を踏まえ、改修工事について検討する。

##### ②実績

改修工事についての検討を行った。

#### 6. 女子寮の改修、環境整備

##### ①計画

平成26年度に策定した女子寮改修工事6ヵ年計画に基づき、4年目の工事を実施する。また、入寮者の利便性向上、安全確保に配慮した環境整備を図る。

##### ②実績

改修工事6ヵ年計画に基づき、ベッドの更新や塗装工事を実施した。また2階、3階トイレの和式から洋式への変更、ウォッシュレットの設置等、老朽化した設備を更新するとともに、入寮者の利便性向上のためにWi-Fiの導入、安全確保のための防犯カメラの新規設置を行った。

## 7. 補助事業に係る研究の推進

### ①計画

文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成 26 年度採択・事業期間 5 年、研究プロジェクト名：次世代の“包括的緩和医療”を支える最先端基礎／臨床 融合型研究の基盤形成）等の補助事業について、研究を推進する。

### ②実績

文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業及び、文部科学省・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（平成 29 年度採択・申請大学：筑波大学（本学：連携大学）、事業名：関東がん専門医療人養成拠点）について、研究を着実に推進した。

## 8. 科研費等外部資金獲得への取り組み

### ①計画

関係省庁等の情報収集・募集要項の分析を強化し公的競争的資金の獲得に取り組む。また、企業との共同研究、受託研究を強化し、研究資金の獲得に取り組む。

### ②実績

#### 【平成 29 年度科学研究費助成事業】

平成 29 年度科学研究費助成事業の新規申請件数 56 件の内、採択件数は 18 件、採択率 32.1%（平成 28 年度新規採択率 19.6%）であった。平成 29 年度の継続採択件数は 26 件（平成 28 年度継続採択件数 30 件）であった。

#### 【平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業】

文部科学省が実施する平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業について、本学は 4 タイプに申請し、タイプ 3（産業界・他大学等との連携）に選定された。選定に伴い、8,000 千円が交付される。

#### 【受託研究・共同研究】

平成 29 年度は、企業等と新規に、14 件の受託研究契約（受託研究費 総額 3,226 万円）及び 14 件の共同研究契約（共同研究費 総額 751 万円）を締結した。

## 9. 先端生命科学研究所の推進

### ①計画

平成 26 年度に設置された先端生命科学研究所について、企業等との連携、競争的資金の獲得等を通じて、研究を推進する。

### ②実績

企業等と新規に、6 件の受託研究契約及び 2 件の共同研究契約を締結し、研究を推進した。

また、平成 29 年度で研究所設置から 4 年目を迎え、平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 年間について、中間評価を実施することとし、中間評価委員会を設置するとともに、中間報告書を作成した。



## 10. 産官学連携の推進

### ①計画

教育研究及び大学経営の活性化等を図るため、本学の研究の産業利用への情報発信を行い、産官学連携を推進する。

### ②実績

企業等と新規に、14件の受託研究契約及び14件の共同研究契約を締結し、産官学連携を推進した。

## 11. 広報活動の強化

### (1) 入試広報活動の強化

#### ①計画

十分な入学希望者を確保するため、ホームページ、大学案内等を利用した情報発信及び入試相談会等を活発に行うとともに、毎年多数の高校生、保護者が参加するオープンキャンパスの充実に努める。

#### ②実績

ホームページ、大学案内等を利用した情報発信に努めたほか、高等学校等の教員を対象とした入試説明会を1回（78校79名参加）、オープンキャンパスを2回（高校生等2,702名、同伴父母等1,568名参加）開催するとともに、学園祭開催時に入試相談室を設けて受験生等の入試相談に対応した。

また、大学進学相談会及び高校内ガイダンス等に参加し、北海道、秋田県、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、山梨県、大阪府、香川県、沖縄県等の44か所において進学相談を行った。

### (2) 高大連携の推進

#### ①計画

高校生の薬学についての関心を喚起するため、例年どおり学内において体験実習（「薬学への招待」）を開催するとともに、高校における模擬講義へ講師を派遣する。

#### ②実績

神奈川県立柏陽高等学校の薬学志望の生徒を対象に、「薬学への招待 2017」と題して体験実習、薬用植物園等の見学を6月24日（土）に本学において行い、43名の生徒が参加した。

また、国府台女子学院高等部、甲府第一高等学校、甲府南高等学校、昌平高等学校、千葉女子高等学校、豊島岡女子学園高等学校、松本第一高等学校、横浜高等学校、横浜平沼高等学校において主に高校1、2年生を対象に薬学に関する模擬講義を行った。

## 12. 社会貢献

### (1) 星薬科大学生涯研修認定制度の強化拡充

#### ①計画

「公益社団法人薬剤師認定制度認証機構」により認証された生涯研修認定制度の実施機関として各種研修プログラムを実施し、生涯学習を通じて自己研鑽に努

める薬剤師を支援する。

## ②実績

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構による認証が平成 24 年 6 月 15 日に更新され、引き続き全国の薬剤師の生涯学習を支援した。平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに 19 名の認定薬剤師を認定（うち 8 名は更新）し、これまでの認定薬剤師数は合計 56 名となった。

平成 29 年度に開催した主催講座は 22 件となり、DVD 研修、および夜間講義受講を合わせて受講者数は 1,666 名であった。また、認定共催講座は 4 件あり、受講者数は 285 名であった。

## （2）地域の薬剤師会及び学校薬剤師会等との連携

### ①計画

地域の薬剤師会及び学校薬剤師会等と連携し、薬と健康に関するイベントの開催や環境衛生検査等を行い、地域社会に貢献する。

### ②実績

平成 29 年 10 月 17 日（火）～23 日（月）が厚生労働省・各都道府県・日本薬剤師会及び都道府県薬剤師会主催の「薬と健康の週間」となることを受け、平成 29 年 10 月 21 日（土）、22 日（日）の星薬祭において、本学主催による「星薬科大学薬 健康フェア 2017」を開催した。

主な内容：薬剤師による薬の服用や保管管理に関する個別相談、パネル展示、関係パンフレットの配布、HbA1c 測定・血圧測定・酸素飽和度測定・骨密度など。

共 催：品川区薬剤師会、荏原薬剤師会、品川区

## （3）公開講座の開催

### ①計画

主に品川区民を対象に公開講座を開催し、地域社会に貢献する。

### ②実績

品川区との共催により以下の公開講座等を開催した。

#### （ア）先端科学創造シンポジウム講演会シリーズ〈21〉

日 時：平成 29 年 5 月 18 日（木）15：30～17：00

会 場：本館メインホール

演 題：会話を超越るコミュニケーション

～シート型脳波センサーによる感情の可視化と社会実装～

講 師：大阪大学産業科研究所教授 関谷 毅 先生

参加者数：53 名

#### （イ）春の薬草見学会

日 時：平成 29 年 6 月 10 日（土）

内 容：

〈第 1 部〉講演 10：00～12：00 （新星館 202・203 講義室）

##### ①「雲南省の植物資源」

講師：神戸 敏成（富山中央植物園・企画情報課長・農学博士）

②「植物を育てて楽しむ知識と技能」

講師：須藤 浩（星薬科大学 生薬学教室・准教授）

〈第2部〉学生による薬用植物園・学内文化的施設案内 13:00～15:00

①スタンプラリー形式による薬用植物見学

②生協学生委員による施設見学 他

参加者数は、1部、2部合わせて159名

(ウ) 秋の薬草見学会

日 時：平成29年10月28日（土）

内 容：

〈第1部〉講演 10:30～12:00（本館 第一ホール）

「世界の薬草、薬草の知識を健康に生かす」

講師：山岸 喬（北見工業大学 名誉教授）

「健康野菜・ネギの仲間を育ててみよう」

講師：須藤 浩（星薬科大学 生薬学教室・准教授）

〈第2部〉学生による薬用植物園・学内文化的施設案内 13:00～15:00

①スタンプラリー形式による薬用植物見学

②生協学生委員による施設見学 他

参加者数は、1部、2部合わせて116名

#### (4) 薬用植物園の公開と推進

##### ①計画

薬用植物園の公開を継続して推進し、社会に貢献する。

##### ②実績

本学薬用植物園の情報発信と薬用植物に関する学生の教育に努めた。また、公開講座等を通じて薬用植物に関する知識の啓発に寄与した。

・学外見学者

個人見学者 898名（記名分）

・植物の導入・分譲

分譲（ジギタリス、ハナスゲなどの薬用植物類7種類の苗および種子）

・学生教育

部活学生への技術指導（挿し木などの栽培技法と水蒸気蒸留法）

・研修会・社会活動

公開講座「薬草見学会」（品川区との共催）

参加者数：6月10日 参加者159名、10月28日 参加者116名

### 13. 知的財産活用の調査検討

#### ①計画

学内及び他機関との共同研究によるシーズの発掘とその活用を継続して調査検討する。

#### ②実績

知的財産管理委員会等にて知的財産の活用について検討した。平成29年度は、職員による発明の申請が、大学独自で1件、企業との共同研究によって1件あり、

いずれも本学が権利を承継し、特許出願を行った。また、2件の発明が特許として登録された。さらに、知的財産権の譲渡を1件行い、500千円の収入を得た。

#### 14. IT環境の整備

##### ①計画

情報の発信、共有、活用を推進するため、IT環境の整備について計画を策定し、着実に実施する。

##### ②実績

Wi-Fiを新星館2階講義室フロア及び地下1階図書館（ラーニングコモンズを含む）に導入した。

インターネット回線を100Mから1Gへ増強した。

#### 15. 業務の改善・効率化の推進

##### ①計画

各職員の業務内容及び事務組織の見直し、SD（スタッフ・ディベロップメント）による人材育成、適性に基づく人事異動等を引き続き行い、業務の改善・効率化を推進する。

##### ②実績

（ア）薬剤師生涯学習支援室をイノベーションセンターより独立させ、専任の事務職員を配置した。

（イ）SD委員会で、SD実施方針を定め、年間実施計画を策定し、実施した。

（ウ）7月に部署配属期間が長期に渡る職員を中心に、人事異動を行い、部署間の業務連携を図った。

#### 16. 安全・防災対策の推進

##### ①計画

（ア）安全・防災対策を推進する。

（イ）リスクマネジメント、情報セキュリティ対策を推進する。

##### ②実績

（ア）安全・防災対策を推進する。

・緊急地震速報を想定した避難訓練を平成29年11月1日（水）に実施した。

第1部では講義や研究、業務中に受信したことを想定し、約1,400人を対象に訓練を実施した。第2部では本館メインホールからの避難を想定し訓練を実施し、45名が参加した。

・荏原消防署員による救急要請判断の研修会を平成29年7月21日（金）に、AED講習会を10月18日（水）に実施した。

（イ）リスクマネジメント、情報セキュリティ対策を推進する。

・ファイアウォールを最新型に更新し、情報セキュリティ強化に努めた。

・メールシステムを外部クラウド化することで、情報セキュリティ強化を図った。

・新規採用者に「誓約書」及び「秘密保持誓約書」の提出を求めた。

## 17. 創立記念行事の実施

学生、教職員に対する、自校愛教育、自校愛育成の一環として、平成27年度から実施している創立記念行事を、平成29年度は以下の通り実施した。

日 時：平成29年5月18日（木）

場 所：本館メインホール

プログラム：

記念式典 13:30～14:30

- ①理事長挨拶
- ②学長挨拶
- ③副学長報告
- ④名誉教授称号授与
- ⑤永年勤続者表彰
- ⑥平成29年度大谷記念研究助成金授与
- ⑦平成29年度テーオーシー・大谷奨学生表彰
- ⑧特製白衣授与
- ⑨学長賞授与

記念講演（星薬科大学公開講座 先端科学創造シンポジウム講演会シリーズ〈21〉）

15:30～17:00

演 題：会話を超越るコミュニケーション

～シート型脳波センサーによる感情の可視化と社会実装～

講 師：大阪大学産業科研究所教授 関谷 毅 先生

## 18. 平成29年度大谷記念研究助成金受領者

標記研究助成金が下記の4名に授与された。授与式は5月18日の創立記念式典にて、また、研究発表は5月30日に行われた。

<研究奨励金>

氏 名 田口 久美子

所属・職名 機能形態学研究室・助教

研究課題 血中マイクロパーティクルの血管生理機能の解明とその遺伝子送達制御に向けた新規治療の基礎的研究

氏 名 横江 弘雅

所属・職名 生体分子有機化学研究室・助教

研究課題 新規多剤耐性克服作用化合物の創出を志向した高歪多環アルカロイドの全合成

<特別奨励賞>

氏 名 北岡 諭

所 属 薬動学教室・大学院博士課程3年

研究課題 妊娠期の薬物摂取が胎児の成長に及ぼす影響

氏 名 濱田 祐輔

所 属 薬理学教室・大学院博士課程4年

研究課題 脳神経ネットワークの抗腫瘍免疫における脳-末梢連関の機能解析

## 19. 規程の整備

主に次の規程を制定した。

星薬科大学学則（改正）

星薬科大学大学院学則（改正）

給与規程（改正）

星薬科大学アドミッションオフィス規程（制定）

星薬科大学入試広報委員会規程（制定）

星薬科大学入試実行委員会規程（制定）

星薬科大学入試問題検討委員会規程（制定）

星薬科大学キャリアサポートオフィス規程（制定）

星薬科大学就職広報委員会規程（制定）

星薬科大学就職支援委員会規程（制定）

星薬科大学卒後調査委員会規程（制定）

星薬科大学リサーチ・アシスタント規程（改正）

星薬科大学リサーチ・アシスタント規程の運用に関する細則（改正）

星薬科大学ポスト・ドクター規程（改正）

星薬科大学イノベーションセンター規程（改正）

星薬科大学事務組織規程（改正）

星薬科大学事務分掌規則（改正）

学生寮に関する規程（改正）

星薬科大学学位規程（改正）

嘱託職員規程（改正）

嘱託職員の雇用に関する細則（改正）

星薬科大学職員就業規則（改正）

育児休業及び育児短時間勤務に関する規則（改正）

介護休業及び介護短時間勤務に関する規則（改正）

星薬科大学教育職員等の任期に関する規程（制定）

星薬科大学教育職員チャレンジ昇任制度実施規程（制定）

星薬科大学特任教授規程（改正）

星薬科大学入学者選抜試験等実施規程（改正）

## 2. 最近5ヶ年の入試結果

### 【推薦入学選考（一般公募制）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
	薬学科（専願）	80	345(256)	344(255)	84(64)	84(64)	4.1
平成30年度	薬学科（併願可）	20	317(243)	315(242)	78(66)	25(23)	4.0
	創薬科学科（併願可）	4	28(16)	28(16)	11(9)	4(4)	2.5
	薬学科（専願）	80	340(262)	340(262)	80(66)	81(65)	4.1
平成29年度	薬学科（併願可）	20	250(203)	249(202)	86(76)	47(41)	2.9
	創薬科学科（併願可）	4	22(8)	22(8)	10(3)	5(2)	2.2
	薬学科（専願）	80	292(221)	289(218)	78(63)	78(63)	3.7
平成28年度	薬学科（併願可）	20	306(242)	302(240)	77(60)	33(28)	3.9
	創薬科学科（併願可）	4	32(16)	32(16)	10(3)	2(1)	3.2
	薬学科（専願）	80	323(248)	320(245)	80(64)	79(64)	4.0
平成27年度	薬学科（併願可）	20	292(230)	288(229)	86(74)	39(32)	3.3
	創薬科学科（併願可）	4	42(16)	41(16)	14(8)	10(6)	2.9
	薬学科（専願）	80	317(220)	317(220)	81(54)	81(54)	3.9
平成26年度	薬学科（併願可）	20	285(233)	276(225)	87(67)	47(36)	3.2
	創薬科学科（併願可）	4	34(14)	33(13)	15(5)	9(3)	2.2

( ) 内は女子内数

### 【一般入試（A方式：大学入試センター試験利用）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
平成30年度	薬 学 科	10	954(626)	954(626)	145(96)	12(10)	4.9
	創薬科学科	4	185(82)	185(82)	61(26)	1(1)	3.0
平成29年度	薬 学 科	10	947(594)	946(594)	157(109)	7(5)	6.0
	創薬科学科	4	170(91)	170(91)	59(33)	2(1)	2.9
平成28年度	薬 学 科	10	996(642)	995(641)	167(112)	7(7)	6.0
	創薬科学科	4	198(93)	198(93)	60(30)	1(1)	3.3
平成27年度	薬 学 科	10	845(552)	845(552)	190(135)	27(23)	4.4
	創薬科学科	4	174(78)	174(78)	63(26)	6(4)	2.8
平成26年度	薬 学 科	10	1,052(647)	1,050(645)	161(107)	7(4)	6.5
	創薬科学科	4	170(74)	170(74)	58(23)	4(3)	2.9

( ) 内は女子内数

【一般入試（B方式：本学実施試験利用）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
平成30年度	薬 学 科	120	1,642(1,002)	1,557(960)	321(200)	119(73)	6.6
	創薬科学科	8	110(45)	101(39)	47(17)	12(5)	2.1
平成29年度	薬 学 科	120	1,689(1,018)	1,602(970)	320(183)	112(62)	5.0
	創薬科学科	8	129(48)	128(48)	48(16)	21(9)	2.7
平成28年度	薬 学 科	120	1,748(1,058)	1,676(1,016)	369(218)	130(81)	4.5
	創薬科学科	8	150(55)	144(49)	46(11)	11(4)	3.1
平成27年度	薬 学 科	120	1,876(1,124)	1,807(1,086)	291(174)	106(61)	6.2
	創薬科学科	8	150(44)	142(41)	41(13)	10(2)	3.5
平成26年度	薬 学 科	120	1,914(1,105)	1,826(1,061)	317(189)	112(74)	5.8
	創薬科学科	8	161(52)	156(50)	51(11)	11(3)	3.1

( ) 内は女子内数

【一般入試（S方式：大学入試センター試験・本学実施試験利用）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
平成30年度	薬 学 科	30	532(333)	459(291)	98(65)	23(15)	4.7
	創薬科学科	4	44(15)	37(11)	12(4)	5(3)	3.1
平成29年度	薬 学 科	30	543(334)	452(271)	99(65)	26(19)	4.6
	創薬科学科	4	52(15)	47(14)	15(4)	3(2)	3.1
平成28年度	薬 学 科	30	457(274)	394(240)	95(53)	36(17)	4.1
	創薬科学科	4	66(30)	61(29)	14(8)	9(5)	4.4
平成27年度	薬 学 科	30	613(360)	500(293)	101(64)	35(23)	5.0
	創薬科学科	4	63(20)	54(17)	17(2)	5(1)	3.2
平成26年度	薬 学 科	30	640(390)	562(344)	104(60)	31(16)	5.4
	創薬科学科	4	66(18)	61(18)	19(5)	4(2)	3.2

( ) 内は女子内数



### 3. 最近5ヶ年の薬剤師国家試験結果

#### 【6年制（新卒）】

年 度	受験者数	合格者数	合格率	順位
平成30年度（第103回）	280	261	93.21%	10（私立55大学中）
平成29年度（第102回）	248	222	89.52%	22（私立56大学中）
平成28年度（第101回）	243	221	90.95%	24（私立56大学中）
平成27年度（第100回）	240	178	74.17%	21（私立56大学中）
平成26年度（第99回）	238	191	80.25%	11（私立56大学中）

#### 【総 数】

年 度	受験者数	合格者数	合格率	順位
平成30年度（第103回）	334	294	88.02%	6（私立56大学中）
平成29年度（第102回）	306	260	89.52%	22（私立56大学中）
平成28年度（第101回）	348	307	90.95%	24（私立56大学中）
平成27年度（第100回）	323	230	74.17%	21（私立56大学中）
平成26年度（第99回）	268	204	80.25%	11（私立56大学中）

### 4. 平成29年度学位授与数（平成30年3月31日現在）

区 分	人数
課程博士（薬学専攻）	8 名
課程博士（総合薬科学専攻）	1 名
課程外博士	1 名
修士	16 名
学士（薬学科）	293 名
学士（総合薬科学科）	33 名
合計	352 名

## 5. 平成29年度就職・進学状況

(平成30年3月15日現在) (人)

			薬学科		薬学計	創薬科学科		創薬計	M2		D3		D4		大学院計	総計	
			6年			4年			男	女	男	女	男	女			男
			男	女	男	女											
内 定 先	製造販売業	MR	12	14	26	1		1								27	
		研究							2						2	2	
		開発	1	1	2											2	
		学術															
		技術・総合	3		3		1	1		2					2	6	
		化学等	営業・企画		1	1											1
			研究・開発							1						1	1
			技術・総合		1	1											1
	卸売業		3	3												3	
	ドラッグストア	23	31	54												54	
	調剤薬局	19	50	69												69	
	病院	14	59	73												73	
	病院研修生																
	CRO・SMO	5	17	22				3	4						7	29	
	教育・研究		2	2												2	
	ポスドク											2	1	3	3		
	国家公務員		2	2												2	
	地方公務員	6	8	14		1	1									15	
	独立行政法人																
	ITサービス業																
その他					1	1		1						1	2		
就職決定学生数			83	189	272	1	3	4	6	7	0	0	2	1	16	292	
※就職率 %			94	99	98	50	100	80	100	100	0	0	100	100	100	98	
進 学	大学院	2		2	15	10	25	2						2	29		
	科目等履修生・研修生								1					1	1		
	専門学校																
	留学										1			1	1		
	医・歯学部																
	他学部																
進学決定学生数			2		2	15		25	2	1	0	1	0	4	31		
※進路決定学生数			85	189	274	16	13	29	8	8	0	1	2	1	20	323	
進路決定率 %			94	99	98	94	100	97	100	100	0	100	100	100	100	98	
進路未定学生数			5	1	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7		
進路未定率 %			6	1	2	6	0	3	0	0	0	0	0	0	2		

調査対象学生数 330 [内訳] 薬学科6年 280 (男90、女190) : 創薬科学科4年 30 (男17、女13)

M2 16 (男8、女8) : D3 1 (女1) : D4 3 (男2、女1)

※ 就職率 = 進路決定学生数 ÷ (総数 - 進学) ※ 進路 = 就職 + 進学